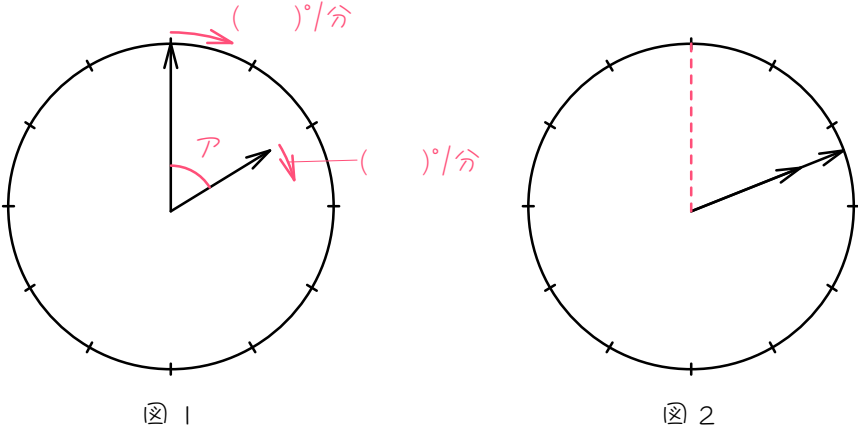


ステップ1 - 重なる

1

2時と3時の間で、図2のように、時計の長針と短針が重なる時刻を求めようと思います。



- (1) 時計の長針は1分間に () 度、短針は () 度進みます。
- (2) 長針の方が短針より速いので、長針が、Aの角度だけ短針より後ろから出発し、短針を追いかけると考えます。 このとき、Aの角度は () 度です。
- (3) 長針は短針に1分間に () 度追いつきます。
- (4) (2)の角度だけ長針が短針に追いつくのに、() 分かかります。

帯分数で答えなさい。

- (5) 2時と3時の間で長針と短針がはじめて重なるのは2時 () 分です。帯分数で答えなさい。

2

3時と4時の間で、図2のように、時計の長針と短針が重なる時刻を求めようと思います。

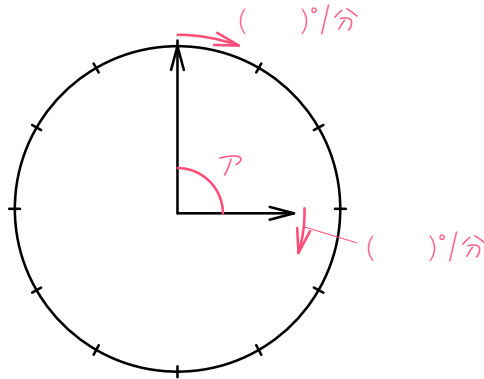


図1

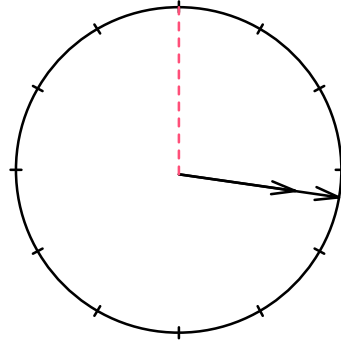


図2

- (1) 時計の長針は1分間に () 度、短針は () 度進みます。
- (2) 長針の方が短針より速いので、長針が、アの角度だけ短針より後ろから出発し、短針を追いかけると考えます。アの角度は () 度です。
- (3) 長針は短針に1分間に () 度追いつきます。
- (4) (2)の角度だけ長針が短針に追いつくのに、 () 分かかります。

帯分数で答えなさい。

- (5) 3時と4時の間で長針と短針がはじめて重なるのは3時 () 分です。帯分数で答えなさい。

3

4時と5時の間で、時計の長針と短針が重なる時刻を求めようと思います。

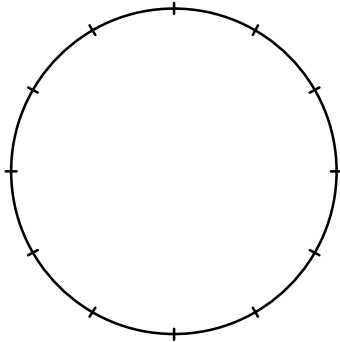


図1

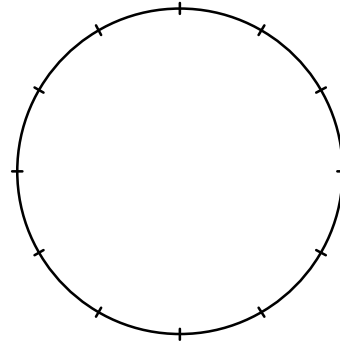
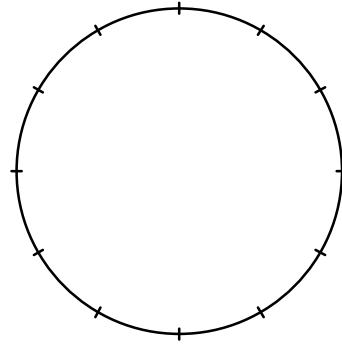
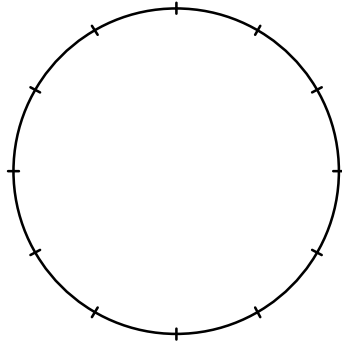


図2

- (1) 4時の図を図1に、4時と5時の間で長針と短針が重なる図を図2にかきなさい。
- (2) 図1に長針と短針の角速度(度/分)と、長針と短針の間の角度をかきこみなさい。
- (3) 4時と5時の間で、時計の長針と短針が重なる時刻は4時何分ですか。帯分数で求めなさい。

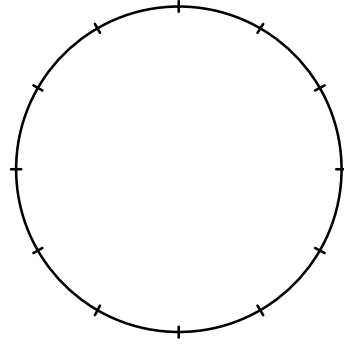
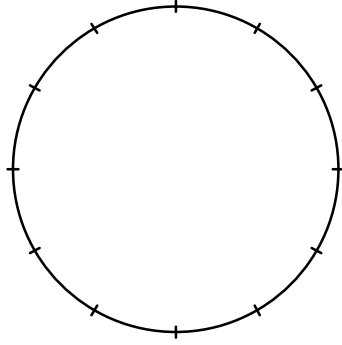
4

7時と8時の間で、時計の長針と短針が重なるのは何時何分ですか。



5

9時と10時の間で、時計の長針と短針が重なるのは何時何分ですか。



ステップ2 - 反対側に一直線になる①

6

7時と8時の間で、図2のように、時計の長針と短針が反対側に一直線になる時刻を求めようと思います。

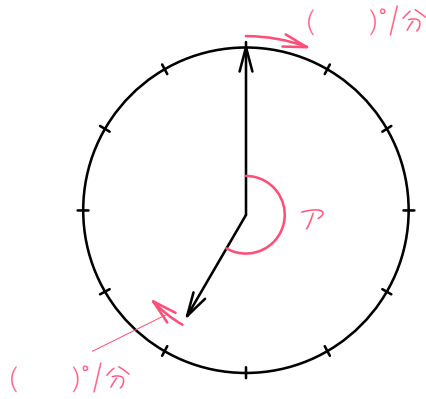


図1

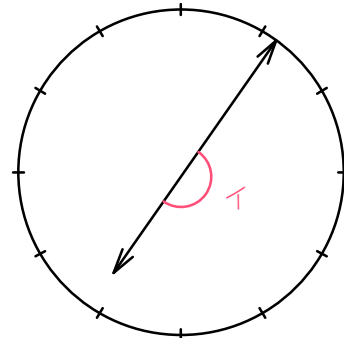


図2

- (1) 長針が、アの角度だけ短針より後ろから出発し、短針を追いかけると考えます。アの角度は () 度です。
- (2) その後、長針と短針の間の角度は少しだけちぢまり、イの角度になります。イの角度は () 度です。
- (3) (1)と(2)より、長針と短針の間の角度は
 () - () = () 度ちぢまりました。
- (4) 長針は短針に、1分間に () 度追いつきます。
- (5) (3)と(4)より、7時と8時の間で時計の長針と短針が反対側に一直線になるのは、7時 () 分です。

7

8時と9時の間で、図2のように、時計の長針と短針が反対側に一直線になる時刻を求めようと思います。

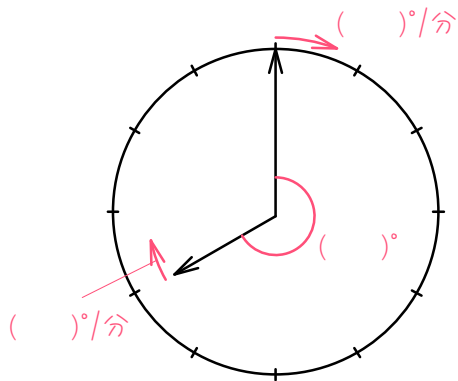


図1

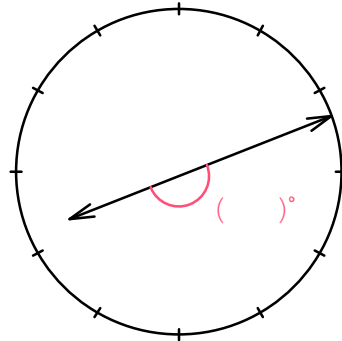


図2

(1) 図1の状態から図2の状態になったとき、長針と短針の間の角度は

() - () = () 度ちぢまりました。

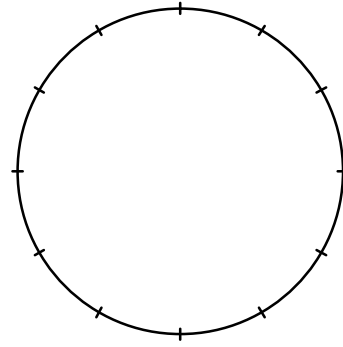
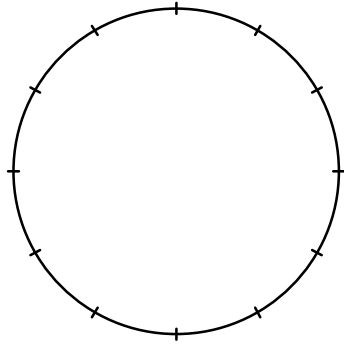
(2) 長針は短針に、1分間に () 度追いつきます。

(3) (1)と(2)より、8時と9時の間で時計の長針と短針が反対側に一直線に

なるのは、8時 () 分です。

8

9時と10時の間で、時計の長針と短針が反対側に一直線になるのは何時何分ですか。



ステップ3 - 反対側に一直線になる②

9

1時と2時の間で、図2のように、時計の長針と短針が反対側に一直線になる時刻を求めようと思います。

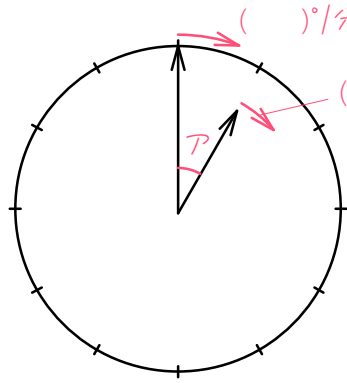


図1

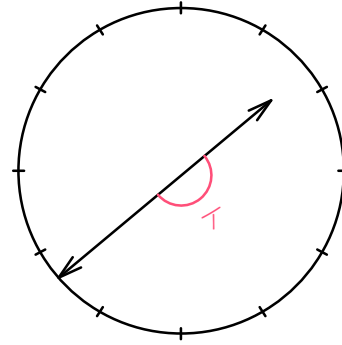
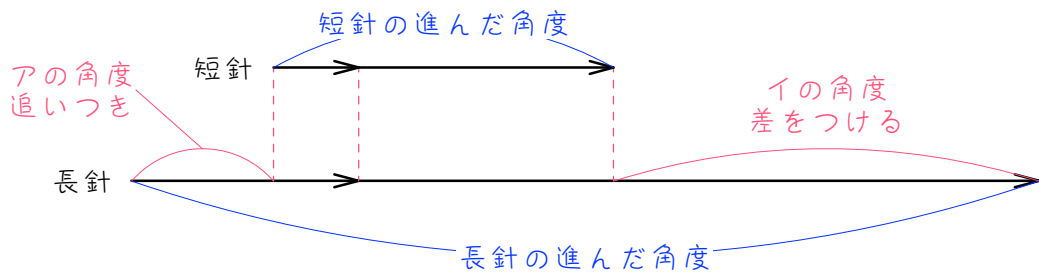


図2

(1) 図1の状態から図2の状態になるのに、長針は短針にアの角度だけ追いつき、さらにイの角度だけ差をつけたこととなります。アの角度は () 度、イの角度は () 度です。よって、長針は短針より、() + () = () 度多く進んだこととなります。

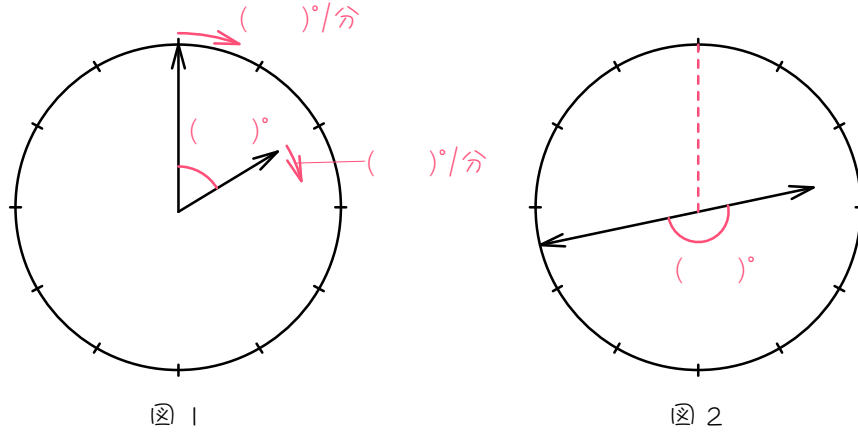


(2) 長針は短針より、1分間に () 度多く進みます。

(3) (1)と(2)より、1時と2時の間で時計の長針と短針が反対側に一直線になるのは、1時 () 分です。

10

2時と3時の間で、図2のように、時計の長針と短針が反対側に一直線になる時刻を求めようと思います。



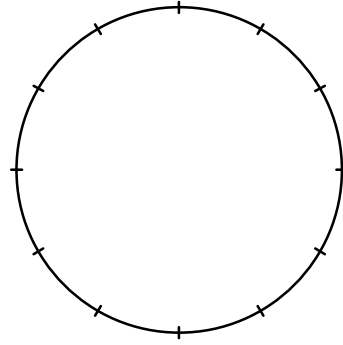
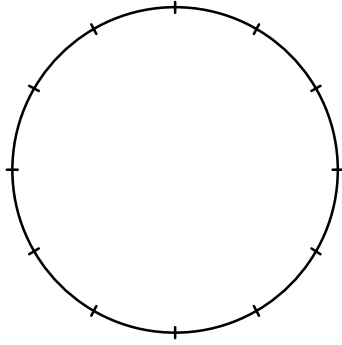
(1) 図1の状態から図2の状態になるのに、長針は短針に () 度追いつき、さらに () 度差をつけたこととなります。よって、長針は短針より、 () + () = () 度多く進んだこととなります。

(2) 長針は短針より、1分間に () 度多く進みます。

(3) (1)と(2)より、2時と3時の間で時計の長針と短針が反対側に一直線になるのは、2時 () 分です。



4時と5時の間で、時計の長針と短針が反対側に一直線になるのは何時何分ですか。



ステップ4 - 90度になる

12

4時と5時の間で、時計の長針と短針の角度が90度になる時刻は、図2と図3のように、2回あります。

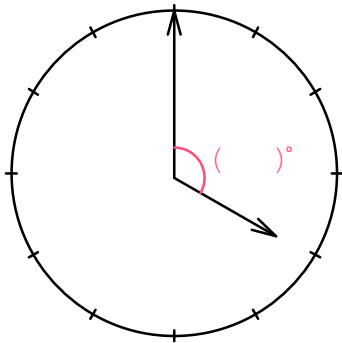


図1

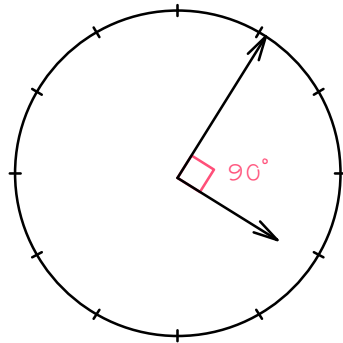


図2

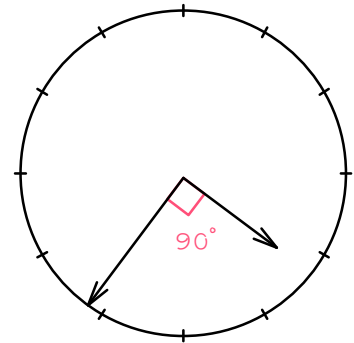


図3

(1) 図1の状態から図2の状態になるのに、長針は短針に、
 () - () = () 度追いついたこととなります。

(2) 図2の時刻は、4時 () 分です。

(3) 図1の状態から図3の状態になるのに、長針は短針に () 度追いつき、さらに () 度差をつけたこととなります。よって、長針は短針より、() + () = () 度多く進んだこととなります。

(4) 図3の時刻は、4時 () 分です。

13

5時と6時の間で、時計の長針と短針の角度が90度になる時刻は、図2と図3のように、2回あります。

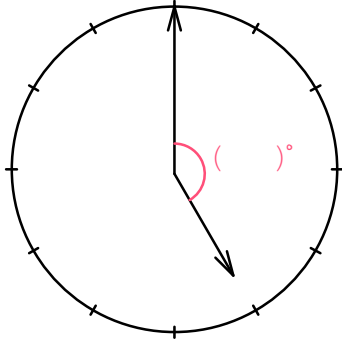


図1

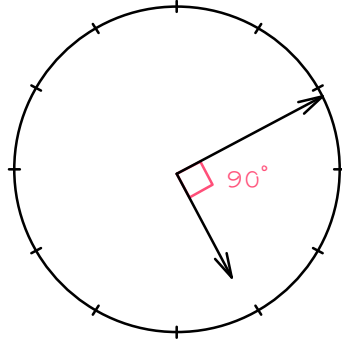


図2

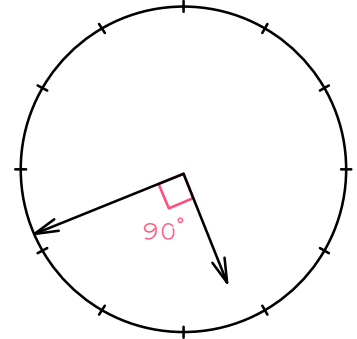


図3

(1) 図1の状態から図2の状態になるのに、長針は短針に、

() - () = () 度追いついたことになります。

(2) 図2の時刻は、5時 () 分です。

(3) 図1の状態から図3の状態になるのに、長針は短針に () 度追

いつき、さらに () 度差をつけたことになります。よって、長

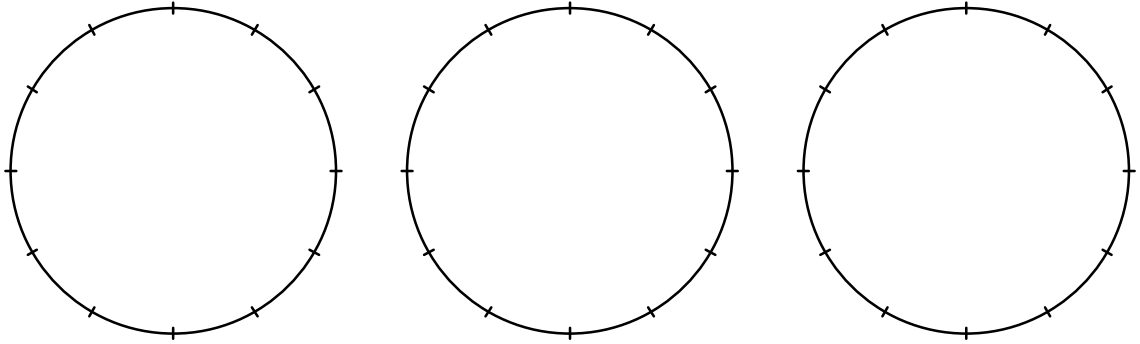
針は短針より、() + () = () 度多く進んだこ

とになります。

(4) 図3の時刻は、5時 () 分です。

14

7時と8時の間で、時計の長針と短針の角度が90度になるのは何時何分ですか。(2回ある場合は、言われなくても2回求めないといけません)



15 10時と11時の間で、時計の長針と短針の角度が90度になる時刻は、図2と図3のように、2回あります。

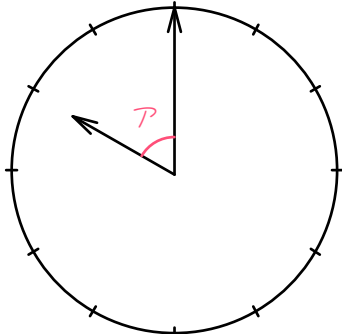


図1

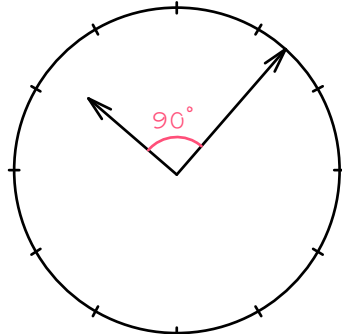


図2

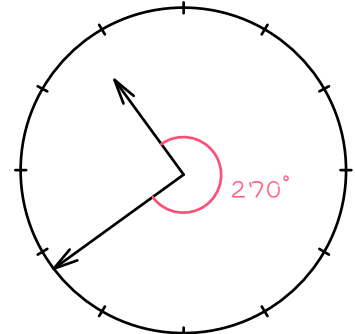
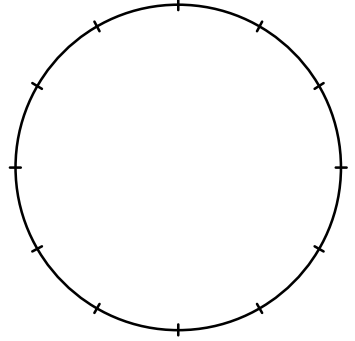
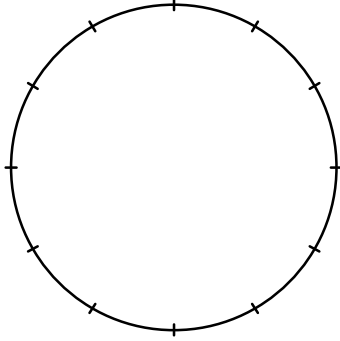
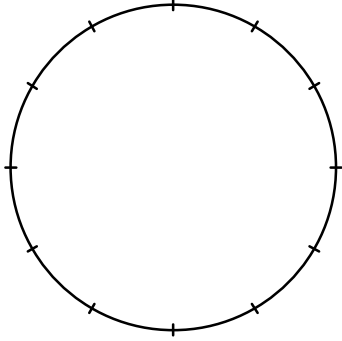


図3

- (1) 図1の $A = (\quad)$ 度です。
- (2) 図1の A の角に注目すると、 A の角度だけ長針が前を進んでいることになります。よって、図1の状態から図2の状態になるのに、長針は短針に、 $(\quad) - (\quad) = (\quad)$ 度さらに差をつけたことになります。
- (3) 図2の時刻は、10時 (\quad) 分です。
- (4) 図1の状態から図3の状態になるのに、長針は短針に、 $(\quad) - (\quad) = (\quad)$ 度さらに差をつけたことになります。
- (5) 図3の時刻は、10時 (\quad) 分です。

16

11時と12時の間で、時計の長針と短針の角度が90度になるのは何時何分ですか。

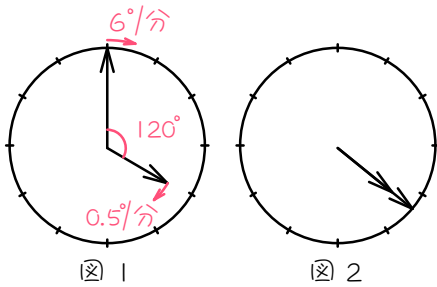


■ 解答 ■

- 1 (1) 6、0.5
 (2) 60
 (3) 5.5
 (4) $10\frac{10}{11}$
 (5) $10\frac{10}{11}$

- 2 (1) 6、0.5
 (2) 90
 (3) 5.5
 (4) $16\frac{4}{11}$
 (5) $16\frac{4}{11}$

- 3 (1)(2)



- (3) 4時 $21\frac{9}{11}$ 分

- 4 7時 $38\frac{2}{11}$ 分

- 5 9時 $49\frac{1}{11}$ 分

- 6 (1) 210
 (2) 180
 (3) 210、180、30
 (4) 5.5
 (5) $5\frac{5}{11}$

- 7 (1) 240、180、60
 (2) 5.5
 (3) $10\frac{10}{11}$

- 8 9時 $16\frac{4}{11}$ 分

- 9 (1) 30、180、30、180、210
 (2) 5.5
 (3) $38\frac{2}{11}$

- 10 (1) 60、180、60、180、240
 (2) 5.5
 (3) $43\frac{7}{11}$

- 11 4時 $54\frac{6}{11}$ 分

- 12 (1) 120、90、30
 (2) $5\frac{5}{11}$
 (3) 120、90、120、90、210
 (4) $38\frac{2}{11}$

- 13 (1) 150、90、60
 (2) $10\frac{10}{11}$
 (3) 150、90、150、90、240
 (4) $43\frac{7}{11}$

- 14 7時 $21\frac{9}{11}$ 分、7時 $54\frac{6}{11}$ 分

- 15 (1) 60
 (2) 90、60、30
 (3) $5\frac{5}{11}$
 (4) 270、60、210
 (5) $38\frac{2}{11}$

- 16 11時 $10\frac{10}{11}$ 分、11時 $43\frac{7}{11}$ 分

■ 解説 ■

1 (1) 長針：60分→360度

$$1 \text{ 分} \rightarrow 360 \div 60 = \underline{6 \text{ (度)}}$$

短針：12時間→360度

$$1 \text{ 時間} \rightarrow 360 \div 12 = 30 \text{ (度)}$$

$$1 \text{ 分} \rightarrow 30 \div 60 = \underline{0.5 \text{ (度)}}$$

(2) $360 \div 12 = 30 \text{ (度)}$ $30 \times 2 = \underline{60 \text{ (度)}}$

(3) $6 - 0.5 = \underline{5.5 \text{ (度)}}$

(4) $60 \div 5.5 = 60 \div \frac{55}{10} = 60 \times \frac{10}{55} = \frac{600}{55} = \frac{120}{11} = 10\frac{10}{11} \text{ (分)}$

(5) $2 \text{ 時} + 10\frac{10}{11} \text{ 分} = \underline{2 \text{ 時} 10\frac{10}{11} \text{ 分}}$



2 (1) 長針は6度/分、短針は0.5度/分

(2) 1めもり30度。 $30 \times 3 = \underline{90 \text{ (度)}}$

(3) $6 - 0.5 = \underline{5.5 \text{ (度)}}$

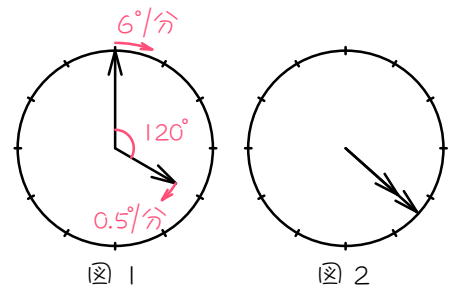
(4) $90 \div 5.5 = 90 \div \frac{55}{10} = 90 \times \frac{10}{55} = \frac{900}{55} = \frac{180}{11} = \underline{16\frac{4}{11} \text{ (分)}}$

(5) $3 \text{ 時} + 16\frac{4}{11} \text{ 分} = \underline{3 \text{ 時} 16\frac{4}{11} \text{ 分}}$

3 (1)(2) 右図

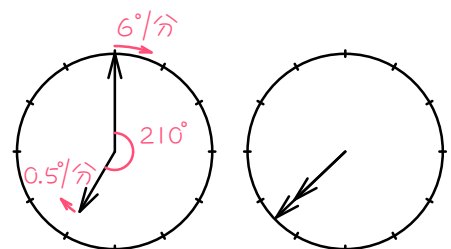
(3) 長針が短針に120度追いつけばよい。

$$120 \div (6 - 0.5) = \underline{21\frac{9}{11} \text{ (分)}}$$



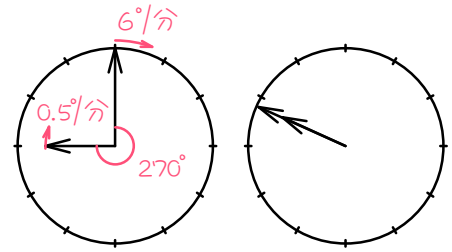
4 図より、長針が短針に210度追いつけばよい。

$$210 \div (6 - 0.5) = \underline{38\frac{2}{11} \text{ (分)}} \rightarrow \underline{7 \text{ 時} 38\frac{2}{11} \text{ 分}}$$



- 5 図より、長針が短針に270度追いつけばよい。

$$270 \div (6 - 0.5) = 49\frac{1}{11}(\text{分}) \rightarrow \underline{9 \text{ 時 } 49\frac{1}{11} \text{ 分}}$$



- 6 (1) $30 \times 7 = \underline{210(\text{度})}$

(2) 一直線だから $\underline{180 \text{ 度}}$

(3) $210 - 180 = \underline{30(\text{度})}$

(4) $6 - 0.5 = \underline{5.5(\text{度})}$

(5) $30 \div 5.5 = 5\frac{5}{11}(\text{分}) \rightarrow \underline{7 \text{ 時 } 5\frac{5}{11} \text{ 分}}$

- 7 (1) $30 \times 8 = 240(\text{度})$

$$240 - 180 = \underline{60(\text{度})}$$

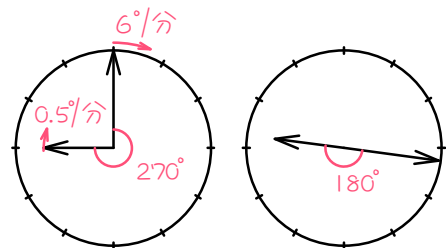
(2) $6 - 0.5 = \underline{5.5(\text{度})}$

(3) $60 \div 5.5 = 10\frac{10}{11}(\text{分}) \rightarrow \underline{8 \text{ 時 } 10\frac{10}{11} \text{ 分}}$

- 8 右図より、長針が短針に、

$270 - 180 = 90(\text{度})$ 追いつけばよい。

$$90 \div (6 - 0.5) = 16\frac{4}{11}(\text{分}) \rightarrow \underline{9 \text{ 時 } 16\frac{4}{11} \text{ 分}}$$



- 9 (1) 長針は短針に30度追いつき、さらに180度差をつけた。

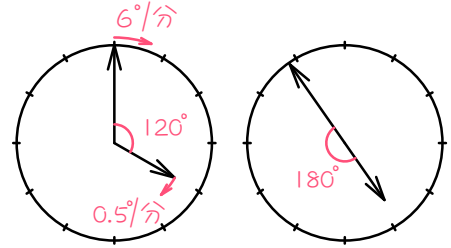
よって、長針は短針より、 $\underline{30 + 180 = 210(\text{度})}$ 多く進んだ。

(2) $6 - 0.5 = \underline{5.5(\text{度})}$

(3) $210 \div 5.5 = 38\frac{2}{11}(\text{分}) \rightarrow \underline{1 \text{ 時 } 38\frac{2}{11} \text{ 分}}$

- 10 (1) 長針は短針に60度追いつき、さらに180度差をつけた。
 よって、長針は短針より、 $60+180=240$ (度)多く進んだ。
- (2) $6-0.5=5.5$ (度)
- (3) $240 \div 5.5 = 43\frac{7}{11}$ (分) \rightarrow 2時43 $\frac{7}{11}$ 分

- 11 右図より、長針は短針に120度追いつき、
 さらに180度差をつけた。
 よって、長針は短針より



120+180=300(度)多く進んだ。

$300 \div (6 - 0.5) = 54\frac{6}{11}$ (分) \rightarrow 4時54 $\frac{6}{11}$ 分

- 12 (1) 長針は短針に、 $120-90=30$ (度)追いついた。
- (2) $30 \div (6 - 0.5) = 5\frac{5}{11}$ (分) \rightarrow 4時5 $\frac{5}{11}$ 分
- (3) 長針は短針に120度追いつき、さらに90度差をつけた。
 よって、長針は短針より、 $120+90=210$ (度)多く進んだ。
- (4) $210 \div (6 - 0.5) = 38\frac{2}{11}$ (分) \rightarrow 4時38 $\frac{2}{11}$ 分

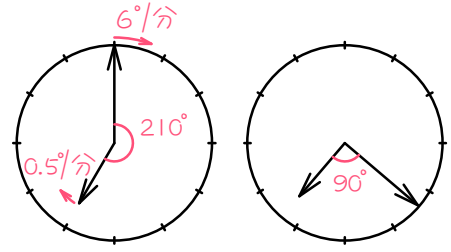
- 13 (1) 長針は短針に、 $150-90=60$ (度)追いついた。
- (2) $60 \div (6 - 0.5) = 10\frac{10}{11}$ (分) \rightarrow 5時10 $\frac{10}{11}$ 分
- (3) 長針は短針に150度追いつき、さらに90度差をつけた。
 よって、長針は短針より、 $150+90=240$ (度)多く進んだ。
- (4) $240 \div (6 - 0.5) = 43\frac{7}{11}$ (分) \rightarrow 5時43 $\frac{7}{11}$ 分

14 【1回目】

右図より、長針は短針に、

$210 - 90 = 120$ (度)追いつけばよい。

$$120 \div (6 - 0.5) = 21\frac{9}{11}(\text{分}) \rightarrow \underline{\underline{7時21\frac{9}{11}分}}$$



【2回目】

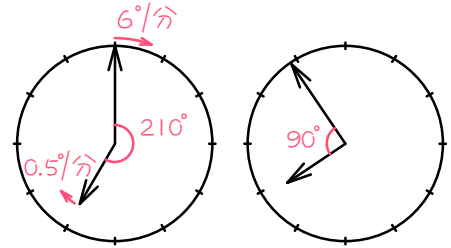
右図より、長針は短針に210度追いつき、

さらに90度差をつければよい。

よって、長針は短針より、

$210 + 90 = 300$ (度)多く進めばよい。

$$300 \div (6 - 0.5) = 54\frac{6}{11}(\text{分}) \rightarrow \underline{\underline{7時54\frac{6}{11}分}}$$



15 (2) 長針は短針に、 $90 - 600 = 30$ (度)さらに差をつけた。

(3) $30 \div (6 - 0.5) = 5\frac{5}{11}(\text{分}) \rightarrow \underline{\underline{10時5\frac{5}{11}分}}$

(4) 長針は短針に、 $270 - 60 = 210$ (度)さらに差をつけた。

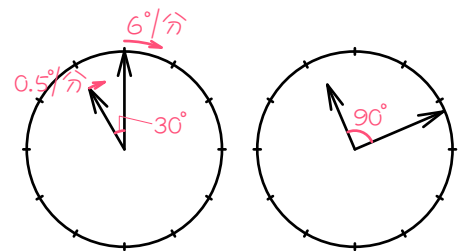
(5) $210 \div (6 - 0.5) = 38\frac{2}{11}(\text{分}) \rightarrow \underline{\underline{10時38\frac{2}{11}分}}$

16 【1回目】

右図より、長針は短針に、

$90 - 30 = 60$ (度)さらに差をつけた。

$$60 \div (6 - 0.5) = 10\frac{10}{11}(\text{分}) \rightarrow \underline{\underline{11時10\frac{10}{11}分}}$$



【2回目】

右図より、長針は短針に、

$270 - 30 = 240$ (度)さらに差をつけた。

$$240 \div (6 - 0.5) = 43\frac{7}{11}(\text{分}) \rightarrow \underline{\underline{11時43\frac{7}{11}分}}$$

